

発刊に当たって

この度、近年における道路交通に関する政策等を総合的な視点から取りまとめた「道路交通政策とITS」を私どもの道路交通問題研究会から発刊いたしました。

本書は、平成に入ってからのものである道路交通に関する政策を中心に、進展著しいITSや今後の課題等について記述しています。その意味で、昭和年代までの道路交通政策について記述した、故・内海倫氏（元・人事院総裁）が中心となって編纂された「道路交通政策史概観」（平成14年12月発行）の続編というべきものであります。

平成時代における道路交通政策の最大の特徴は、ITS（Intelligent Transport Systems）の出現とその進展です。本書では、ITSの形成と展開の経緯について道路交通政策の視点から振り返るとともに、道路交通政策とITSが、将来どのような方向に進展し、どのような交通社会を実現する可能性があるかについて考察を加えています。また、情報ネットワーク社会の急速な進展に伴い、ITSと他のシステムとのネットワーク化、統合化、標準化が今後の重要な課題になるとの問題意識を持って記述したところです。この社会全体の情報ネットワークの連鎖は、道路交通があくまで社会生活の一断面であることを改めて想起させるものであり、道路交通政策を進める上で、他の政策とのさらなる連携、総合化の必要性を痛感しているところです。

これらの諸課題を考察し、考究する上で、本書は、道路交通問題に関わる皆様の必読の書と自負しております。座右の書として、ご活用いただければ幸いです。

道路交通問題研究会会長 元警察庁長官 田 中 節 夫